



## 2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月13日

上場会社名 K I Y Oラーニング株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7353 URL <https://www.kiyo-learning.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 綾部 貴淑  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CHRO・コーポレート本部長 (氏名) 星野 正幸 TEL 03 (6434) 5590  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第3四半期の業績 (2024年1月1日～2024年9月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	3,357	18.3	157	—	154	—	118	—
2023年12月期第3四半期	2,839	35.6	11	—	6	—	5	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	17.38	17.28
2023年12月期第3四半期	0.78	0.77

(注) 2024年12月期第3四半期の営業利益、経常利益、四半期純利益の対前年同四半期増減率は、1,000%以上となるため、「—」と記載しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	4,092	1,207	29.5
2023年12月期	3,956	1,084	27.4

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 1,207百万円 2023年12月期 1,084百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—		
2024年12月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の業績予想 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,450	17.2	200	47.1	200	42.9	200	78.6	29.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期3Q	6,836,100株	2023年12月期	6,803,100株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	496株	2023年12月期	496株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期3Q	6,826,692株	2023年12月期3Q	6,792,766株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(四半期損益計算書に関する注記) .....	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期会計期間につきましては個人向け資格取得事業（スタディング）においては、引き続きスタディング講座の新規開発や既存講座の改訂、サービス内容の充実や品質の向上、マーケティング強化等による販売拡大、事業基盤を支える人材の確保等に注力いたしました。

サービス面においては、記述式試験において、生成AIを活用して受講生の答案に個別添削を実施する「AI添削」機能を2024年8月に新たにリリースいたしました。学習を止めない「即時添削」とAIだからこそ可能な「繰り返し添削」によって、忙しくて時間がない受験生の”効率的な学習”サポートを一層強化してまいります。中小企業診断士講座、行政書士講座に導入し、他講座にも順次展開する予定です。さらに、生成AIを活用し、受講生の個々の学習状況に応じて学習の進め方をタイムリーに提案する「AI学習ナビ」機能を2024年9月に新たにリリースいたしました。学習の進め方に迷いそうな場面で「AIマスター先生」が受講生の状況に合わせた個別アドバイスを提供します。また、学習を進めていく中で困りごとが出てきたときには、「AIマスター先生」に質問・相談することもできます。受講生一人ひとりの学習状況に合わせた学習法アドバイスを提供することで、受講生の”効率的な学習”を総合的かつ継続的にサポートしてまいります。中小企業診断士講座・社会保険労務士講座に導入し、他講座にも順次展開していく予定です。

講座ラインナップにつきましては、10月にプログラミング学習講座「スタディングテック」、「保育士講座」、「公務員講座 保育士コース」を開講いたしました。「スタディングテック」は、オンラインでプログラミングが学べる動画学習サービスで、基本コースは無料としています。提供するコースは人気プログラミング言語である

「Python」や、近年ビジネスの現場で急速に需要が高まっている「生成AI」などを用意しており、未経験からITエンジニアになるためのスキルを身につけられる内容としております。今後、ITの最新トレンドに合わせて新コースを順次展開してまいります。「保育士講座」では、図解やアニメーションを多用した動画講義により、始めての方でも容易に理解できるようにしています。さらに回数無制限のQA（質問）・添削・対面指導まで含んだコースをご用意し、実技試験対策まで講師と二人三脚で試験対策ができるようになっております。これらの新規講座により、2024年9月末現在で33講座を展開しており、今後も引き続き講座ラインナップの拡張を進めてまいります。

当社が属する資格取得市場は、学習のDXがより一層加速すると予想され、リスキリングや学び直しといった、生涯にわたって学び続けることが重視される環境になりつつあります。このような環境下では、当社の強みであるITを活用しオンラインに特化した講座は着実に存在感を増してきております。「学びやすく、わかりやすく、続けやすい」学習手段を提供し、サービスの機能充実・新規講座のラインナップ拡大をはかり、「資格を取るならスタディング」と最も信頼されるサービスとなることを目指して事業を展開してまいります。

また新たな事業として開始した、資格取得者と採用企業・転職エージェントを直接つなぐ、ダイレクトリクルーティングプラットフォームである「スタディングキャリア」においては、スタディングの利用者、資格取得した方を中心に登録者を増やすとともに、求人ニーズのある企業および人材紹介エージェントとの取引の拡充を進めております。資格取得だけでなく、その後の転職まで支援することで、生涯にわたるキャリアをサポートする、キャリア支援プラットフォームを提供していく予定です。

法人向け教育事業につきましては、引き続き社員教育クラウドサービス「エアコース」のコンテンツ強化や新機能のリリースによるプロダクトの強化、新規案件受注獲得に向けた営業活動を積極的に行ってまいりました。エアコースでは、コースが受け放題でご受講頂けるようになっており、コース数拡充も積極的に進めております。コース数は2023年12月末時点の856コースから、2024年9月末現在で983コース（対前年末比+127コース）まで増加しております。また、企業オリジナルのコースを簡単に作成して共有が可能であり、管理機能も充実しております。昨今、企業ではリスキリングや人的資本投資を推進しており、当サービスはそういったニーズに応じて成長をしております。その結果、社内で契約企業数に関しては、2023年12月末時点の686社から、2024年9月末現在で859社（対前年末比+173社）まで増加しております。

また、新サービスとして開始した、法人企業が安心して導入でき、誰でも簡単に日常業務に活用できる生成AIサービスである「AirCourse AIナレッジ」においては、業務別のプロンプトのテンプレートの整備・拡充、ナレッジ共有機能との連動により、業務効率や生産性の向上を実現できるプロダクト・サービスとして企業への導入が進んでおります。8月には、OpenAI社の最新AIモデル「GPT-4o」と「GPT-4o mini」の提供を開始いたしました。従来のモデルよりもコストパフォーマンスに優れた高速・高性能な最新モデルが追加されたことで、より一層の業務効率化が可能となります。

このように法人向け教育事業においても、ユーザビリティを高め、コンテンツを充実させるとともに、最新のITを活用したサービスを並行して提供していくことで、企業にとって不可欠な人的資本支援サービスとして事業拡大を進めております。

このような状況のなか、当第3四半期累計期間の売上高は3,357,898千円（前年同期比18.3%増）となり、引き続き対前年同期と比べ大きく伸長いたしました。費用面においては、各事業部において原価、販管費とも予算統制を実施した結果、営業利益は157,347千円（前年同期比1,222.0%増）、経常利益は154,288千円（前年同期比2,381.0%増）、四半期純利益は118,667千円（前年同期比2,130.5%増）となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

## (資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は4,092,650千円となり、前事業年度末に比べ136,010千円増加いたしました。これは主に現金ベース売上増による現金及び預金の増加40,089千円、テレビCM制作費用の計上に伴う前払費用の増加45,985千円、システム開発に伴うソフトウェア及びソフトウェア仮勘定の増加33,493千円によるものです。

## (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は2,885,407千円となり、前事業年度末に比べ13,071千円増加いたしました。これは主に、前受金の増加69,819千円及び未払法人税等の減少26,872千円によるものであります。

## (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,207,243千円となり、前事業年度末に比べ122,939千円増加いたしました。これは主にストックオプションの行使に伴う資本金及び資本剰余金の増加4,272千円、四半期純利益118,667千円によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、2024年2月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2024年11月13日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,194,226	3,234,315
売掛金	60,639	81,401
コンテンツ資産	113,831	152,080
貯蔵品	94	138
その他	121,194	142,942
流動資産合計	3,489,985	3,610,878
固定資産		
有形固定資産	73,098	66,985
無形固定資産	234,151	267,162
投資その他の資産		
その他	159,404	147,636
貸倒引当金	—	△13
投資その他の資産合計	159,404	147,623
固定資産合計	466,653	481,771
資産合計	3,956,639	4,092,650
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	450,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	19,122	1,628
未払法人税等	42,692	15,820
前受金	1,974,999	2,044,818
賞与引当金	7,772	17,057
株主優待引当金	3,214	1,209
その他	366,442	350,208
流動負債合計	2,864,243	2,880,741
固定負債		
その他	8,092	4,665
固定負債合計	8,092	4,665
負債合計	2,872,336	2,885,407
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	803,710	805,846
資本剰余金	794,664	796,800
利益剰余金	△514,010	△395,342
自己株式	△60	△60
株主資本合計	1,084,303	1,207,243
純資産合計	1,084,303	1,207,243
負債純資産合計	3,956,639	4,092,650

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	2,839,593	3,357,898
売上原価	388,927	449,193
売上総利益	2,450,666	2,908,705
販売費及び一般管理費	2,438,764	2,751,357
営業利益	11,902	157,347
営業外収益		
受取利息	28	266
受取配当金	0	0
受取手数料	—	1,971
その他	62	15
営業外収益合計	91	2,254
営業外費用		
支払利息	3,151	3,342
支払保証料	1,204	1,283
その他	1,419	687
営業外費用合計	5,775	5,313
経常利益	6,218	154,288
特別損失		
投資有価証券評価損	—	8,622
特別損失合計	—	8,622
税引前四半期純利益	6,218	145,665
法人税等	898	26,998
四半期純利益	5,320	118,667

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

## (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

## (税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

## (セグメント情報等の注記)

当社は、e-learning・教育事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (四半期損益計算書に関する注記)

## (売上高の季節的変動)

当社が個人向け資格取得支援サービスで展開している「スタディング」は、会計上の売上高がサービス提供期間（コースの受講期間）に対応して期間按分されます。当社の主力の資格講座については、試験の終了後にコースの受講期限を設定しており、主力の資格講座の試験日は下期に集中しているため、コースの受講期限についても同様に下期に集中しております。

受講者が購入したタイミングが年度のどの時期であっても、受講期限は同じタイミングとなり、主力の資格講座の受講期限である下期に売上高が積みあがることから、売上高の季節的変動があります。

## (四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	48,136千円	59,448千円